外来様式1 (FF1) 入力シート

外来様式1 (FF1) 入力シート(在宅) 別紙1

カルテ番号		氏名		
患者の状態	₹ 1.	□末期の悪性腫瘍	8. □在宅人工呼吸	
	_	□在宅自己連続携行式腹膜灌流	9. □植込型脳・脊髄刺激装置	
		□在宅血液透析	10. □肺高血圧症	
		□在宅酸素療法	11. □気管切開	
		□在宅中心静脈栄養法	12. □気管カニューレ	
	6.	□在宅成分栄養経管栄養法	13. □ドレーンチューブ	
	7.	□在宅自己導尿		
褥瘡	①深さ			
	□皮膚損傷・発赤なし □持続する発赤 □真皮までの損傷 □皮下組織までの損傷			
	□関節腔、体腔に至る損傷 □深部損傷褥瘡(DTI疑い) □判定不能			
	②浸出液			
	□なし □少量:毎日の交換を要しない □中等量:1日1回の交換 □多量:1日2回以上の交換			
	③大きさ(cm2)長径×長径に直行する最大径(持続する発赤の範囲も含む)			
	□皮膚損傷なし □4未満 □4以上16未満 □16以上36未満 □36以上64未満			
	□ 6 4	以上100未満		
	④炎症・感染			
	□局所	「の炎症兆候なし □局所の炎症兆	候あり(創周辺の発赤、腫腫、熱感、疼痛)	
	□臨界的定着疑い(創面にぬめりがあり、肉芽があれば、浮腫性で脆弱など)			
	□局所	の明らかな感染兆候あり(炎症兆 ^ん	候、膿、悪臭) □全身的影響あり(発熱など)	
	⑤肉芽形	成・良性肉芽が占める割合		
	□創が	治癒した場合、創が浅い場合、深部損	傷褥瘡(DTI)疑い □創面の90%以上を占める	
	□創面	の50%以上90%未満を占める □創記	面の10%以上50%未満を占める	
	□創面	の10%未満を占める □全く形成さ	れていない	
	⑥壞死組織			
	□なし	□柔らかい壊死組織あり □硬く厚	『い密着した壊死組織あり	
	⑦ポケッ	ト(cm2)潰瘍面も含めたポケット	全周(ポケットの長径×長径に直行する最大径) - 潰瘍面積	
	□なし	□4未満 □4以上16未満 □16	以上36未満 口36以上	
経管・経静	脈栄養			
	1. □経鼻	胃管 2. □胃瘻・腸瘻 3. □末	消静脈栄養 4. □中心静脈栄養 5. □皮下注射	

外来様式1 (FF1) 入力シート(在宅) 別紙2

カルテ番号	氏名 			
がんの傷病	自院診断 □無 □有 病名			
がんのStaging分類				
	□O □ONOS □Oa □Ois □ I □ I NOS □ I A □ I A1 □ I A2			
	□IB □IC □II □IINOS □IIA □IIB □IIC □IIE □III □IIINOS			
	□IIIA □IIIB □IIIC □IV □IVNOS □IVA □IVB □IVC □IVS □不明			
	□T-現発腫瘍 □TX:現発腫瘍の評価が不可能 □T0:現発腫瘍を認めない			
	□Tis:上皮内癌 □Tis(DCIS):上皮内癌 □Tis(LCIS):上皮内癌 □Tis(Paget):上皮内癌			
	□Tispu:上皮内癌 □Tispd:上皮内癌 □Tispd:上皮内癌 □Tis(LAMN):低異型度虫垂粘液性腫瘍			
	□T1mi:上皮内癌 □T1mic:上皮内癌			
	□T1:現発腫瘍の大きさまたは局所進展度を順次表す			
	□T1a □T1a1 □T1a2 □T1b □T1b1 □T1b2 □T1c □T1c1 □T1c2 □T1c3 □T1d			
	□T2 □T2a □T2a1 □T2a2 □T2b □T2c □T2d			
	□T3 □T3a □T3b □T3c □T3d □T3e			
	□T4 □T4a □T4b □T4c □T4d □T4e Ta:現発腫瘍が粘膜内に限局している			
	□N-所属リンパ節 □TX:所属リンパ節の評価が不可能 □T0:所属リンパ節転移無し			
	□N1mi:所属リンパ節転移の程度を順次表す			
	\square N1 \square N1a \square N1a(sn) \square N1b \square N1c \square N2 \square N2a \square N2b \square N2c			
	□N3 □N3a □N3c □N4			
	□M-遠隔転移 □MX:遠隔転移の評価が不可能 □MO:遠隔転移無し			

□**M1:遠隔転移あり** □M1a □M1b □M1c □M1d □M1e